

■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

●吊車の本体への取付けは、吊車の操作レバーが水平になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けない事を確認してください。押し込みが足りないと、本体が落下するおそれがあります。

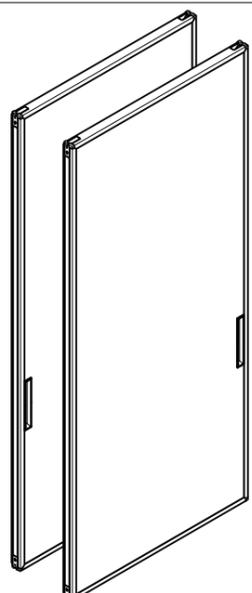
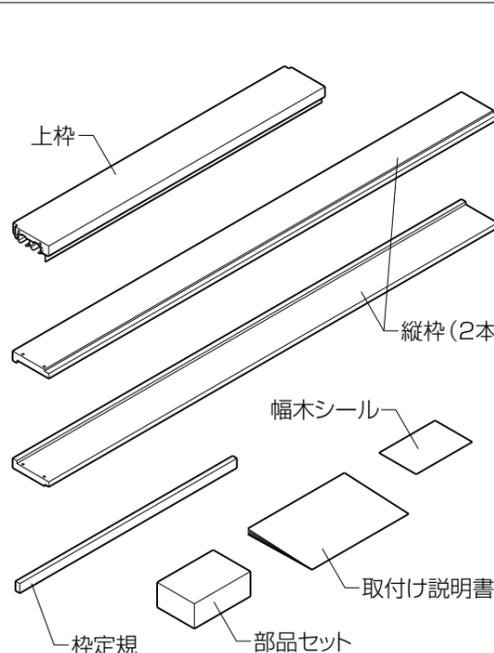
■取付け上のお願

- 本製品は上吊り方式を採用しています。はり（まぐさ）は、強度を増すため、断面寸法50×180mm以上を使用してください。上枠の垂下がりの原因になります。
- 振れ止めは「6 振れ止めの取付け」通りに正確な位置に取付けてください。本体の開閉操作に支障が出る原因になります。
- 本体にダンプロンテープ・ガムテープ・クラフトテープ等の粘着力の強いものを直接張らないでください。養生の際は、マスキングテープ等粘着力の弱いものを使用してください。
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤を併用してください。
- かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎるとねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみ等の原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には、必ずすき間をつくって納めてください。縦枠と柱・間柱とのすき間は、かい木を入れて調整し、内装ボードを必ず縦枠につきあててください。上枠とまぐさのすき間にも、必ずかい木を入れてください。
- 建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 運搬・加工の際は、傷付けないようにていねいに取扱ってください。又、直射日光の当たる場所に開梱状態で置かないでください。反り・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・傷等による交換はできません。）

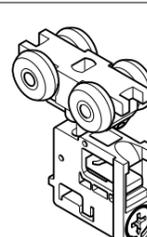
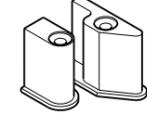
■部材・部品一覧表

※枠はノックダウン、本体は完成品です。

■部材一覧表

本体	枠 (引違い2枚建・引違い3枚建用)
	
●1枚梱包×2／引違い2枚建用 (R・L用各1枚ずつ)	●枠定規 (施工治具用)
●1枚梱包×3／引違い3枚建用 (R・L・中間用各1枚ずつ)	●部品セット

■部品一覧表

名称	吊車	キャッチ	戸先振れ止め (取付けねじ付)	召合せ振れ止め (取付けねじ付)
姿図				
引違い2枚建用	4	2	L用 1	R用 1
引違い3枚建用	6	2	1	1
名称	皿小ねじM4×50 (上枠・縦枠組立て用)	DNビス (皿木ねじ) φ3.8×50 (上枠・縦枠躯体取付け用)	トラスタッピンねじφ4×60 (上枠躯体取付け用)	
姿図				
引違い2枚建用	4	17	5	
引違い3枚建用	4	18	7	

## 開口部の作り方

### 開口部寸法の出し方

開口A寸法=製品寸法(W)+5mm

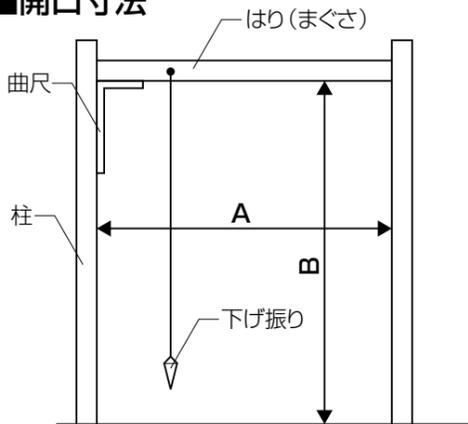
開口B寸法=製品寸法(H)+5mm

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

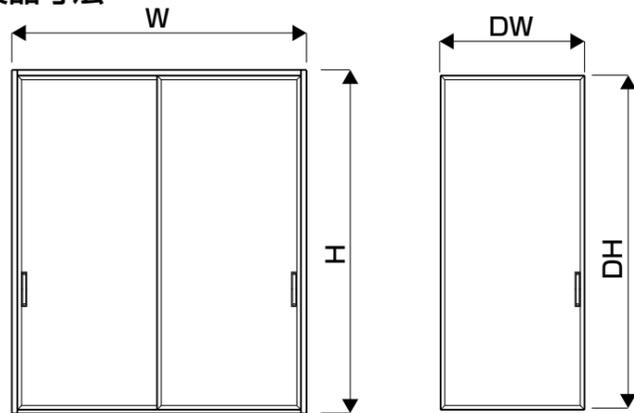
※本製品は、上吊り方式を採用しています。

はり(まぐさ)は、強度を要するため、断面寸法50×180(mm)以上を使用してください。

### 開口寸法



### 製品寸法



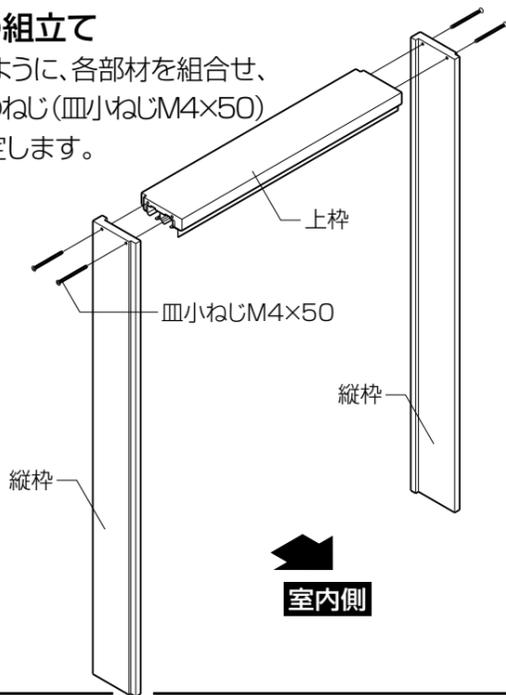
## 取付け手順

### お願い

※本製品の縦枠は、クロス巻込み仕様です。クロス張り時に上レールを取外す必要があるため、以降の作業(「5 上レールの取付け」「6 振れ止めの取付け」「7 本体の吊込み」)は、クロス張り後に行なってください。

### 1 枠の組立て

- 図のように、各部材を組合せ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。



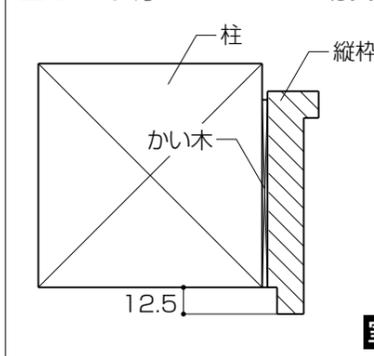
### 2 枠の取付け

- 開口部と縦枠・上枠とのかい木を入れて取付けます。
- 枠定規ですき間が生じていないことを確認した後、本固定します。

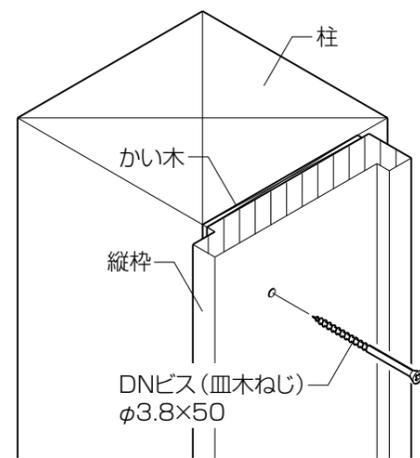
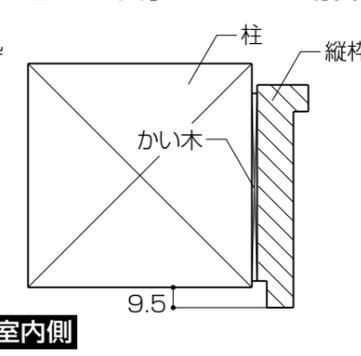
### 縦枠

- ※ DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。
- ※ 縦枠の取付位置は、柱に対して下図の位置に取付けてください。

### ボード厚12.5mmの場合

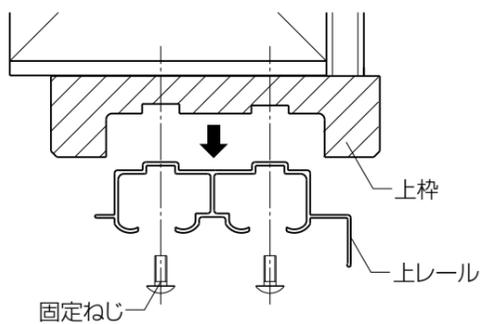


### ボード厚9.5mmの場合



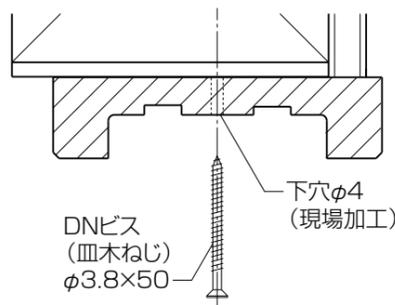
### 上枠

- 下記手順にて取付けを行ってください。
- ① 上レールを固定しているねじをゆるめて、上枠より上レールを取外します。
- ※ 固定ねじは再度使用するため、なくさないでください。



- ② 上枠センターに下図のピッチでφ4の下穴をあけ、同梱のねじ(DNビスφ3.8×50)で躯体に固定してください。

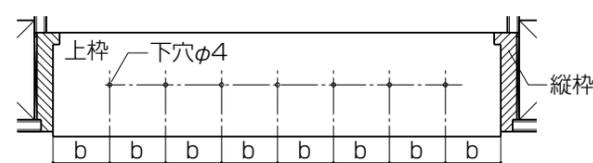
- ※ 取付けの際は、ねじ頭が上枠面より出ないように取付けてください。又、上枠をねじで固定する際、下穴のあいている位置全てに必ずかい木を入れてください。上レールの本固定がボード仕上げ後となるため、かい木が入れられなくなります。



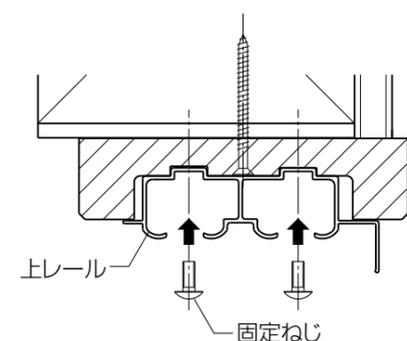
### 下穴ピッチ図



### 【引違い3枚建て】

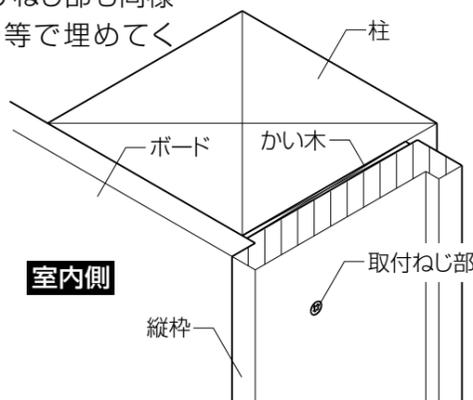


- ③ 再度、上レールを固定します。(①で取外したねじを使用してください。)



### 3 ボードの取付け

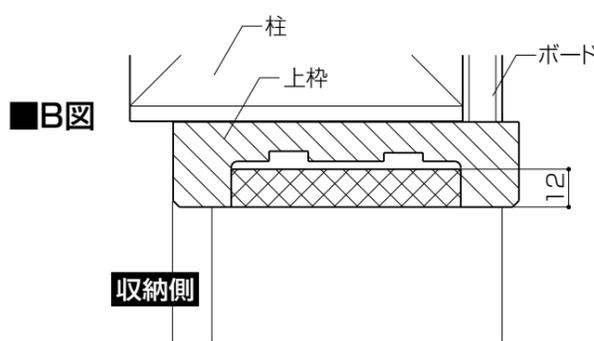
- ボードを縦枠しゃくり部に、すき間ができないように取付けます。
- すき間は必ずパテ等で埋めてください。又、縦枠取付けねじ部も同様に、パテ等で埋めてください。



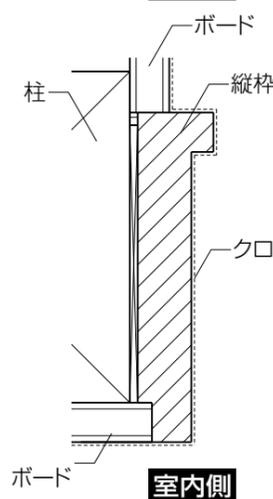
### 4 クロス仕上げ

#### ● クロス張りを施工される方へのお願い

- ① クロスを張る際は、一度上レールを取外してください。(上レール取外し要領は、取付け順序「2 / 上枠-①」参照)
- ② クロスは、縦枠全体に巻込んでください。(A図 ----- 線部)
- ③ クロスは上枠の溝部まで張付けてください。(B図 網目部)



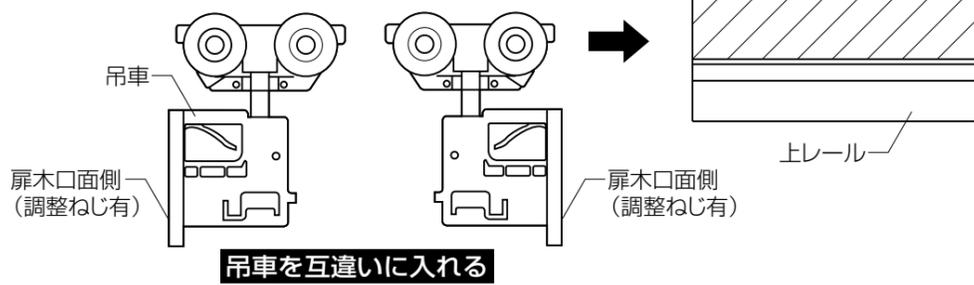
### A図 収納側



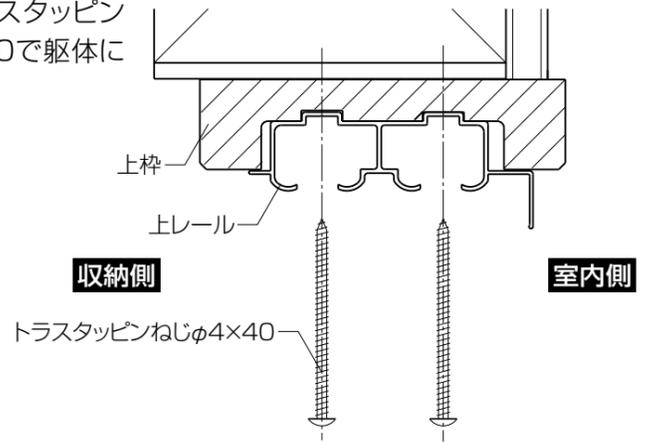
## ■取付け手順

### 5 上レールの取付け

①吊車を互違いの向きにして、上レールに入れてください。  
 ※吊車の入れ方を間違えると、つり込み及び建付け調整ができなくなります。



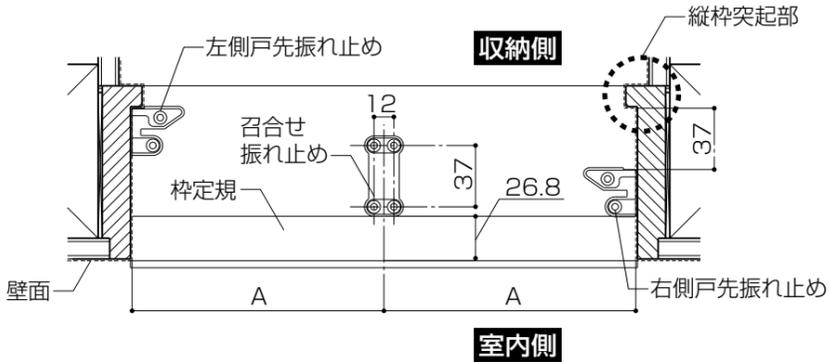
②上枠をトラスタッピン  
 ねじφ4×40で躯体に  
 固定します。



### 6 振れ止めの取付け

●振れ止めを、枠に同梱のねじ(皿タッピンねじφ4×35)で固定します。  
 ※機種により取付け位置が異なります。必ず下記の説明をお読みください。

#### 1) 引違い2枚建の場合

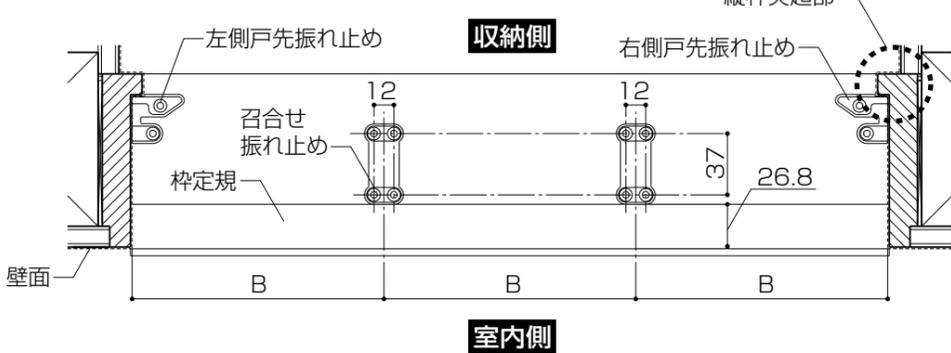


①枠定規を室内側の壁面に合わせ、縦枠の内々に入れて、左図の位置に召合せ振れ止めを突当てて、ねじ止め(4箇所)します。

	A寸法
W16	803.5
W18	893.5

②左側戸先振れ止めは、縦枠突起部に合わせて、ねじ止め(2箇所)します。右側戸先振れ止めは、縦枠突起部より37mmの位置にねじ止め(2ヶ所)します。

#### 2) 引違い3枚建の場合



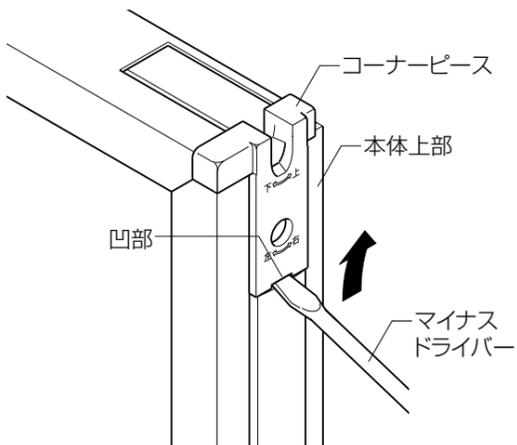
①枠定規を室内側の壁面に合わせ、縦枠の内々に入れて、左図位置に召合せ振れ止めを突当てて、ねじ止め(4箇所)します。

	B寸法
W24	800
W26	848
W27	890

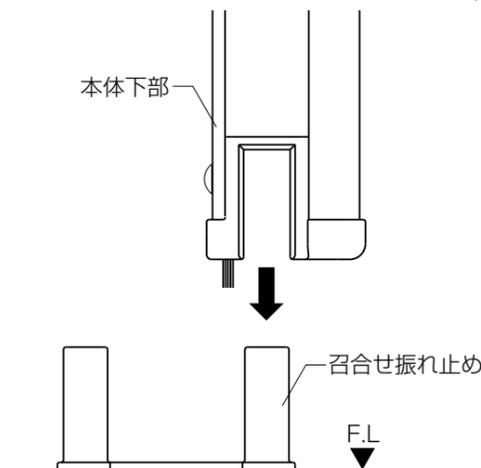
②戸先振れ止めを縦枠突起部に合わせ、ねじ止め(2箇所)します。

### 7 本体のつり込み

①本体上部のコーナーピースの凹部に、マイナスドライバーを突当て、矢印の方向に引き、コーナーピースを外します。

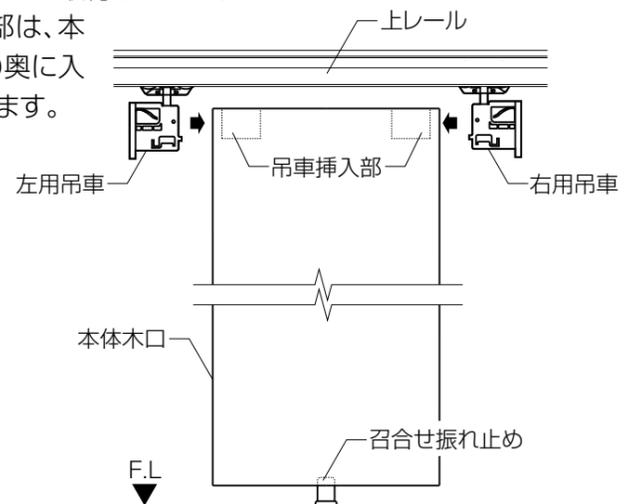


②本体を上げて、本体下部の溝に召合せ振れ止めを入れます。

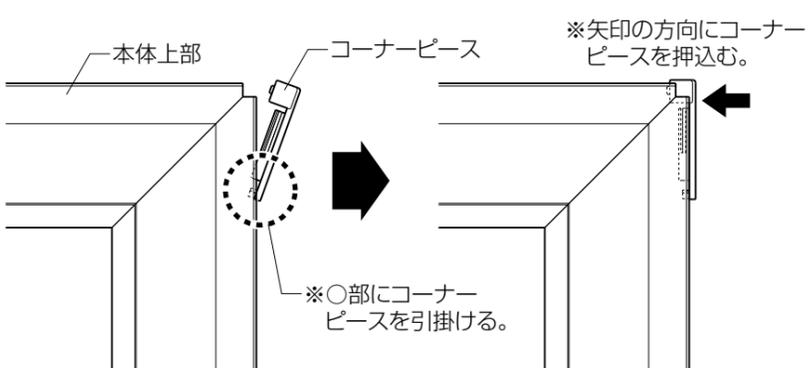


③片側ずつ吊車を本体に水平に押し込むと、ワンタッチで取付けられます。

※吊車の挿入部は、本体木口面より奥に入った所にあります。

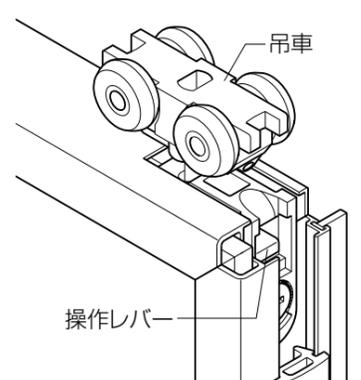
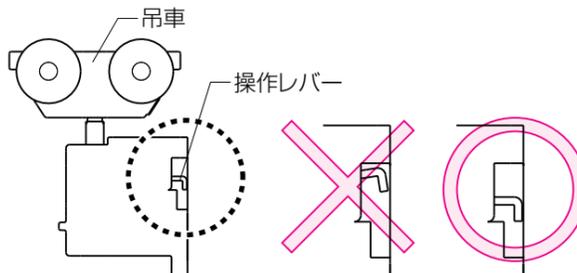


④再度、コーナーピースを、下図の要領で取付けます。



### ▲注意

●吊車の本体への取付けは、吊車の操作レバーのが止まるまで押し込んでください。

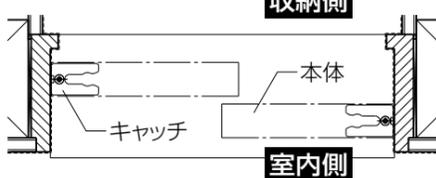


## ■取付け手順

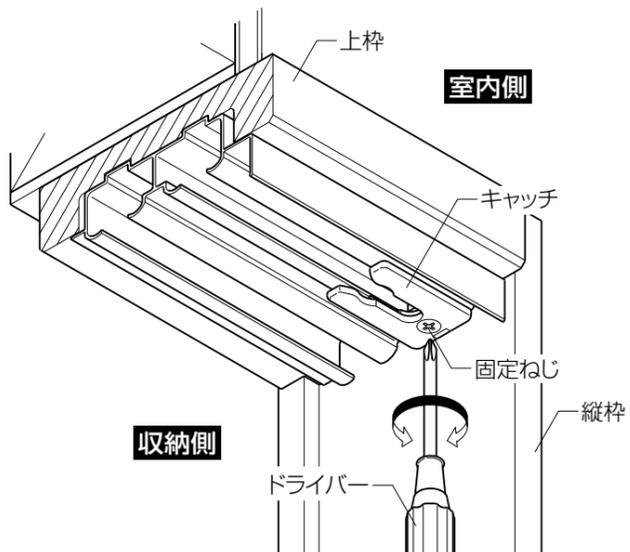
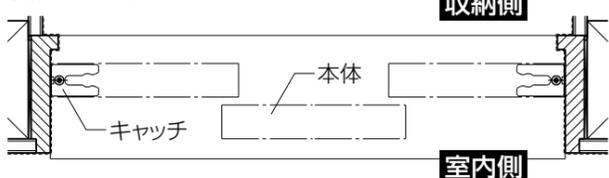
### 8 キャッチの取付け

- キャッチを上レールの指定の位置で、縦枠に突当てて取付けます。

### ■引違い2枚建て

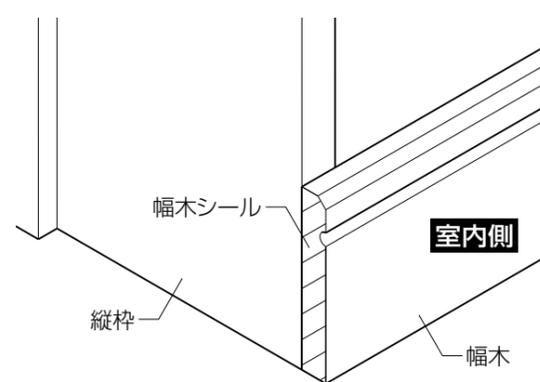


### ■引違い3枚建て



### 9 幅木シールの取付け

- 幅木はクローゼットの開口部まで、回すことができません。
- 幅木を使用される場合は、木口部に同梱のシールを張付けてください。



## ■本体の建付け調整

※本体の吊車には、上下方向及び前後方向の調整機能が付いています。

### 1) 上下調整 (調整幅+4mm、-1mm)

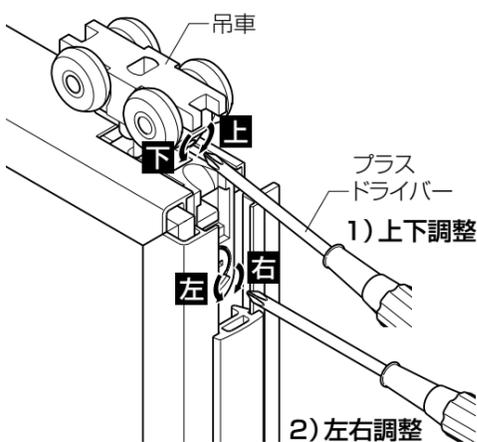
- プラスドライバーで、吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

※床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。

※本体を下げ過ぎると振れ止めベース部と本体が当たりますので、下げ過ぎないでください。

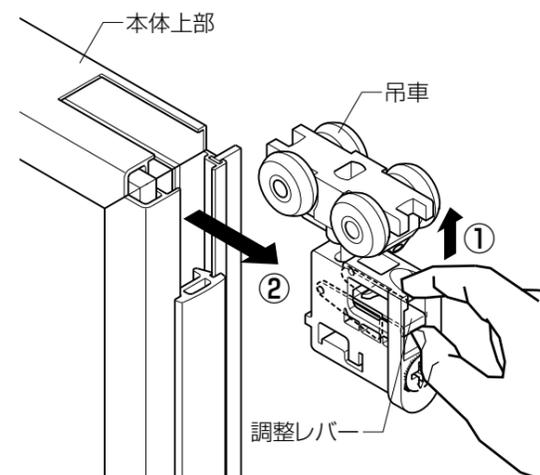
### 2) 前後調整 (±2mm)

- 前後調整はプラスドライバーで、吊車下部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと本体が左に動きます。



## ■本体の取外し方法

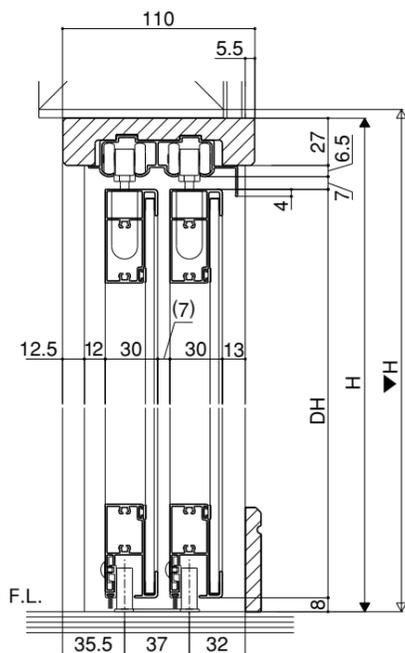
- 本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。



## ■参考納まり図

### 【引違い2枚建て】

### ■縦断面図

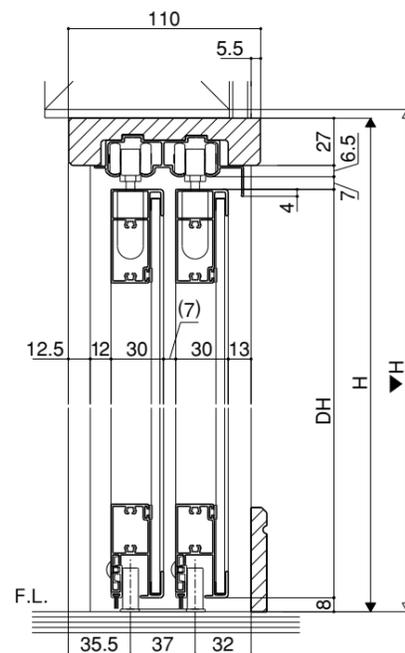


縦枠には樹脂シートを巻いていません。クロス張り時は、縦枠にも張ってください。(縦枠はクロス張り仕様です。)

	W	DW	A	B
W16	1643	814	757	1595
W18	1823	904	847	1775
	H	DH		
H23	2306	2257.5		

### 【引違い3枚建て】

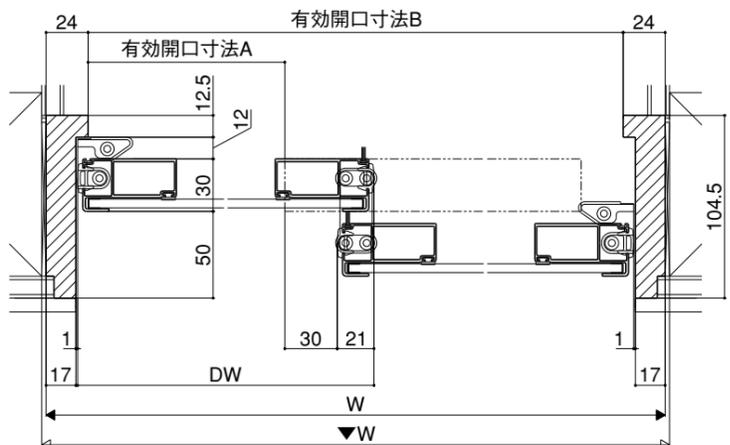
### ■縦断面図



縦枠には樹脂シートを巻いていません。クロス張り時は、縦枠にも張ってください。(縦枠はクロス張り仕様です。)

	W	DW	A	B
W24	2436	814	766	2388
W26	2580	862	814	2532
W27	2706	904	856	2658
	H	DH		
H23	2306	2257.5		

### ■横断面図



### ■横断面図

